

嶋田病院のPCRセンターについて

7月末に嶋田病院で発熱外来、帰国者接触外来も含めたPCRセンターを開始するという連絡を受け、8月6日に嶋田病院事務部長と現場の責任者である感染対策看護師に現状の状況を教えてもらいに行きました。

結論からお話しすると現在の状況をかんがみると医師会でのPCRセンター構想は医師会横にPCRセンターを設置するよりも嶋田病院で行われているPCRセンターに医師会が協力する形式のほうが効率的でお互いの負担を減らすことになると思いました。

現在のPCR検査の数 1日20－30件前後 日ごとに増加傾向

内訳 A 濃厚接触などによる保健所からの依頼 10件

B 小郡三井医師会からの各診療所からの紹介 7.8件

C 嶋田病院への飛込み患者 7.8件

これ以上数が増えると嶋田病院だけで行うのが困難になってくる。

もし医師会で独自にPCRセンターを作るのであればAとBについて嶋田病院ではなく医師会横で検査を行うのを想定する。これはPPで作成した分の構想
もう一つの構想は医師会が嶋田病院でのPCRセンターを手伝うことで嶋田病院横のPCRセンターでさらなる数を増やすことができるようにするというものでこちらのほうが効率的と考える。

測定方式 鼻腔による検査 医師が診察をし検体採取は4人の看護師で行っている。

現状では院内での施行であるが、今後数が増えれば嶋田病院救急外来横の駐車場もしくは小郡市役所の駐車スペースでドライブスルー方式も検討しているとのこと。

医師会で協力するとすればどうするのがよいか。

今一番困っているのは紹介患者さんのほとんどが診察、治療、検査を行われないで紹介されている。実際患者さんに話を聞くと発熱、感冒症状などがあり近医受診すると診察など何もせず「じゃあ嶋田病院に行きなさい」とだけ言われたという人が多いとのこと。そうなるPCR検査をする前に医師の診察を受け、採血、画像検査などで重症度判定をしてからPCRが必要かどうかを判断してから検査をしないといけない。一人の患者さんに対してかなり時間がかかるため数がさばけなくなっている。医師のマンパワーも不足している。実際医師会横にPC

Rセンターを設置するとしてもこのような紹介のされ方をされたらセンターが機能しなくなってしまうです。

それを解消する方法をまとめると

- ① 嶋田病院に紹介する前に各診療所の先生方に診察、検査、軽症者の処方などを行ってもらい嶋田病院での医師の診察や検査の負担を減らす。また検査結果の説明も陽性の場合は嶋田病院で行うが、陰性であれば可能であれば紹介元病院で行ってほしい。
- ② ①に加え、現在紹介は飛び込みになっている、可能であればPCRのみの紹介は予約での対応を検討してある程度の予測が立つようにする。
- ③ ①、②が難しければ現状の嶋田病院の状況であればPCRの検体採取よりもPCRで紹介された患者さんの診察、検査、重症度判定などが困っているためそれを行ってほしい、そうすると各課の先生すべてでは難しく、内科系の診察を普段している医師でないと対応は難しい。
- ④ ①を適切にしてもらえるのであればPCR検体採取など含め各課の先生に手伝っていただくことでPCRセンターでの患者さんを対応できる数を増やすことができる。
- ⑤ 医師に帯同する看護師については現状数はまわせているため輪番は医師のみでも問題ない。

以上をまとめて先月の話し合いでのPCRセンターはすべての医師会の病院と診療所の医師に課すということをするのであれば①+④を行うしか方法はないと思います。そして輪番の医師がたまたま内科系の医師であったら③も行い対応するということになるかと思います。

以上になります。島田会長とはこの件について直接お話ができていませんのでご意見などいただければ幸いです。もちろんほかの理事の先生からのご意見も頂きたいと思っています。